

同志社ビジネススクール MBA 公開講座「中小企業の経営～学ぶことの意義 2024～」  
開催結果報告要旨

2024 年 8 月  
同志社大学大学院ビジネス研究科

当研究科は、2024 年 7 月 28 日(日)13:30 から 17:10 にかけて、京都リサーチパーク 1 号館 4 階サイエンスホールにおいて「同志社ビジネススクール MBA 公開講座『中小企業の経営～学ぶことの意義 2024～』」を開催しました。京都リサーチパーク株式会社の運営により京都の多数の企業・大学・公的機関などが 7 月 25 日から 30 日にかけてイベントを集中開催した KRP フェス 2024 の一環としての開催です。

【開催趣旨】

中小企業の経営に携わる MBA 修了生および経営研修受講経験者から学習成果活用体験を紹介し、中小企業が経営に関する学習機会の普及に向けて連携・協力している以下の機関からのパネルディスカッション登壇者が、中小企業にとって経営を学ぶことの意義について意見交換を行いました。

- ・同志社大学大学院ビジネス研究科(同志社ビジネススクール:DBS)
- ・公益財団法人京都産業 21
- ・京都府生涯現役クリエイティブセンター/京都府リカレント教育推進機構
- ・日本政策金融公庫

プログラム参照先:<https://www.krp.co.jp/krpfes/detail/4441.html>

【議事概要】

第 1 部(13:30-14:10)において、開催趣旨説明およびサンプル講義として、DBS 児玉俊洋教授より「中小企業経営の特色」、DBS 野瀬義明教授より「中小企業でも活用したい ROIC ツリー」(野瀬担当)と題する講演を行いました。

第 2 部(14:20-15:45)において、MBA 修了生および経営研修受講経験者 4 名より概要次のような講演がありました。DBS2022 年度修了生で、オリジナル自転車を製作する有限会社ビゴーレ・カタオカの片岡有紀氏からは、後継者となるか悩んでいたときに DBS 村山祐三教授(現名誉教授)から「継ぐ継がないの前にビジネスとして継続できるのかという視点で考えた方がいい」と言われたことをきっかけとして入学し、在学中の学びと対話から後継となることを決断したこと、同じく DBS2022 年度修了生の関根理沙氏からは、元々東京の出版会社勤務であったが京都への憧れと京都の伝統文化や古典文学の魅力を発信する人間になりたいとの理想を実現するため DBS に入学し、経営全般の体系的知識と京都寺院の本質的価

値の発信に関するソリューションレポートなどの学びを元に京都で文化コーディネーターとしての事業を開始したことなどが紹介されました。

次いで、DBS と京都産業 21 との共同企画講座である 2023 年度「事業展開力養成実践講座」受講生で、京焼・清水焼の企画・販売を行っている株式会社東五六代表取締役社長の浅井洋平氏から、受講内容を活用して、インバウンド旅行客を対象として、訪日前に作品展示・販売を行う「タビ前」、自社店舗での買い物や工房訪問を行う「旅ナカ」、リピーターファンの養成を図る「旅アト」から成る新事業を企画立案し試行運用を行っていること、DBS と京都府リカレント教育推進機構との共同企画講座である 2023 年度「MBA 体験コース」受講生で、小川珈琲株式会社取締役管理本部長の佐古井宏氏からは、30 代後半になって学び直しに意欲的になり、その一環として 2023 年度同講座を受講し、リーダーシップに関する受講内容に基づき自らのリーダーシップ行動とチームメンバーとの関わり方を見直すなど実践に活用した上、学びの深化を求めて今年度 DBS に入学したことなどが紹介されました。



第 3 部パネルディスカッション(16:00-17:10)では、公益財団法人京都産業 21 常務理事の上田雅人氏、京都府生涯現役クリエイティブセンター事務局の前田志津江氏、日本政策金融公庫京都支店国民生活事業筆頭副事業統轄の奥田智則氏から各機関活動状況の紹介があったのち、これら 3 名の方々に野瀬教授を加えたパネリストから、第 2 部の 4 名の登壇者が学びを実践し学びを継続していることに感銘を受けたこと、経営者が学んでいることが企業経営や社員の意欲にとっても重要であること、それぞれの人的背景を持ち意欲ある人たちが参集し上下関係のない対等な関係で学習できる MBA スクールの意義などが指摘されました。

一般参加者からは、今後学習していくための参考として社会、企業、行政ではどのような人材を求めているか知りたいとの質問があり、これに対してパネリストから、企業・組織では経営層に近づくほど知識が必要となり MBA で学ぶ知識が有意義であること、年代ごとに求められる人材が異なりそれぞれに必要な研修があること、意思決定するための知識や判断根

拠を一人で全て持つのは難しく困った時に相談できる人脈づくりが重要であることなどの意見がありました。

最後に総合進行役の児玉教授から、学びが実践に活用され人生のあり方にも関わっているなどの話を聞き、人材育成に携わる者としてその責任、役割の大きさに一層気の引き締まる思いであること、DBSは地域連携を重視して尽力して参るので本日もご参集の方々のご協力を引き続きお願いしたい旨を述べ閉会としました。

